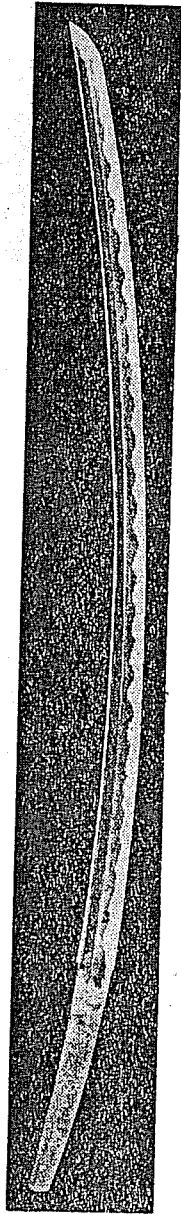


太刀姿のものへと変遷して、先反りがかかる。

友重、宇多国房。



盛光

六、室町時代末期

太刀 極めて少なく、姿は中期と同じ。寸法が

二尺一、二寸が普通。

刀 鑄造、中切先延びるものが多く、身幅や

や広め。二尺以上の打刀は特に先反りが強いものが多い。

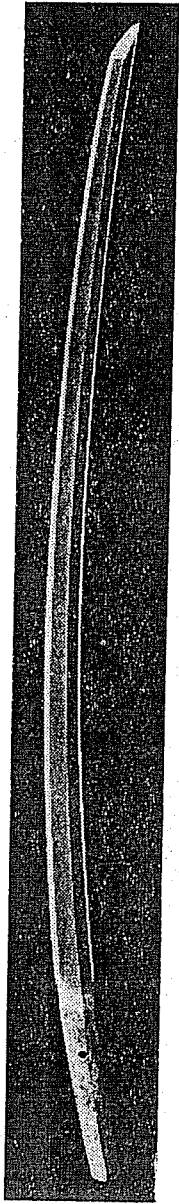
例 平安城長吉、三条吉則。備前国忠光、勝

光、宗光、祐定、清光。備後国具三原物。

美濃国兼定、兼元、氏房。相模国綱広、

康春。駿河国島田義助、助宗。伊勢国村

正。豊後国平長盛。



兼定

七、桃山時代

刀 鑄造、身幅広く元幅と先幅の差が少なく

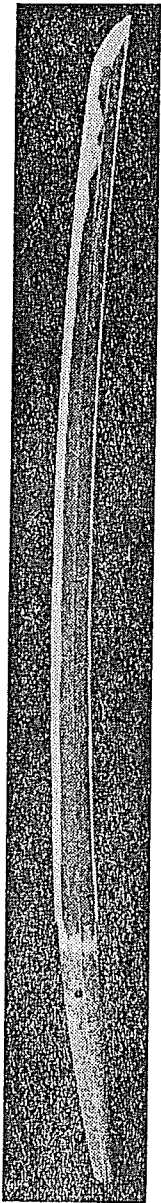
切先は延び、反りが浅く、やや重ね厚く、一見磨上に見える。

例 山城国埋忠明寿、堀川国広、出羽大掾国

路。伊賀守金道、越中守正俊、丹波守吉

道。越前国康継。南紀重国。仙台国包。

芸州輝広。肥前忠吉。



国広

八、江戸時代中期

刀 鑄造、重ね頃合。元幅に比して先幅が狭

くなり、切先は中切先が詰まるものが多い。反りは浅い。

例 大坂井上真改、津田助広、同助直、越後

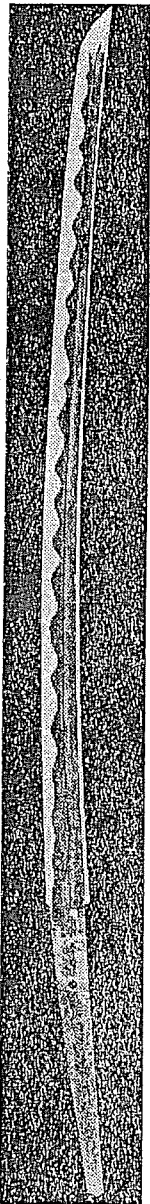
守包貞、河内守国助(二代)、一竿子忠綱、

多々良長幸。江戸康継、安定、兼重、長

曾禰帛徹興里、興正、法城寺正弘、日置

光平一派。肥前忠広一派。一平安代。筑

前信国吉包。



助広

九、幕末時代

刀 南北朝時代、桃山時代の作刀に似て身幅

例 江戸水心子正秀、大慶直胤、細川正義。

石堂是一、源清麿、栗原信秀、清人、長